

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

1 よつ葉 大地 2019年10月号 よつ葉乳業株式会社

牛群検定における乳成分値の活用

乳脂率、乳蛋白質率、P/F比、などの活用法を解説

[よつ葉乳業](#) [検索](#)

2 酪農のなかま 2019 秋号 JA全農

あたらしい牛群検定のススメ! ⑤ 牛群検定気象情報カウダスの利用

十勝、栃木、宮崎の気象と乳量の関係を紹介しています。

3 全酪新報 11月1日号 全国酪農協会

牛群検定ワンポイントレッスンその77 大雨災害時には要記録

大雨災害があったときは雨量をカウダスで記録しましょう

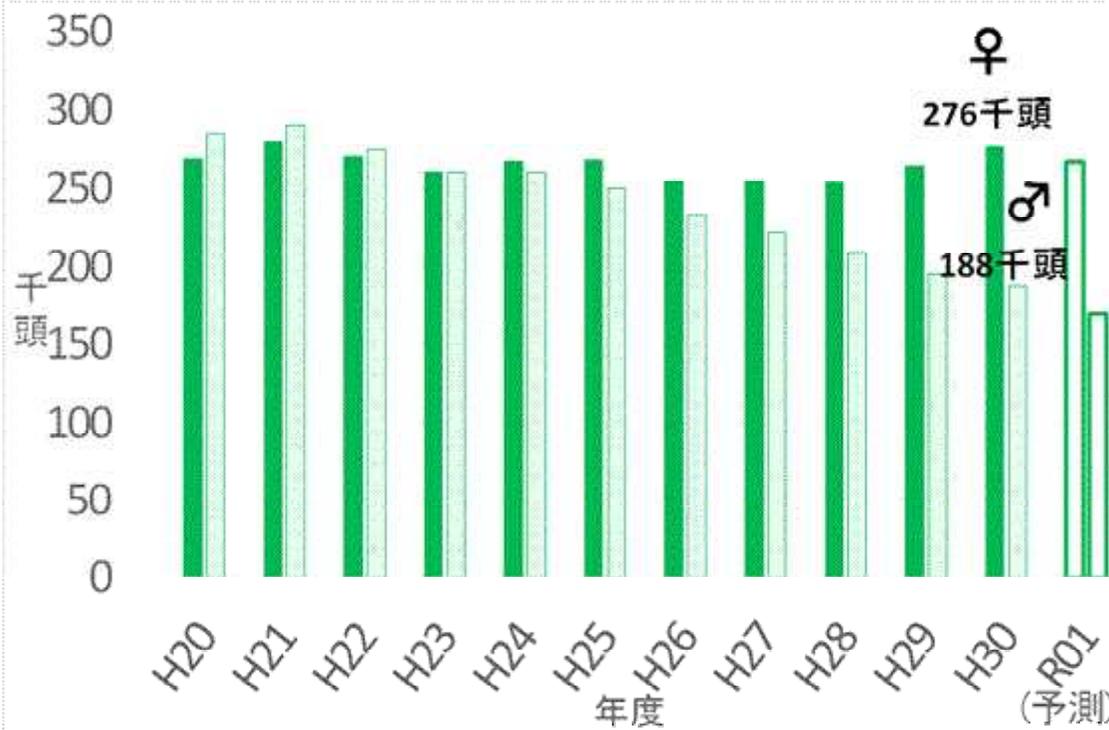
4 LIAJニュース9月号 (一社)家畜改良事業団

新しい牛群検定成績表について(その62) 乳蛋白質率、P/F比、MUN等

検定成績表の活用を基本に戻って解説

[検定成績表見方](#) [検索](#)

乳用子牛の出生動向および予測



左図は、平成20～30年度分の家畜改良センター公表の牛個体識別での出生頭数の届出実績に、乳用牛群検定全国協議会が牛群検定をもとに算出した令和元年度分の予測頭数を示しています。

平成28年度まで4年連続で出生頭数は減少傾向にありましたが、平成29年度からは増加傾向に転じており、また、メス子牛の比率が年々増加しております。

令和元年度は、乳用メス子牛は僅かに減って267千頭、オス子牛は170千頭となると予測されており、頭数こそ前年度より減少しているものの、メス子牛の比率はさらに増加しております。これらの要因はメス性選別精液によるものと考えられ、生産者の皆様がメス牛生産に

努力した結果と考えられます。

また、平成30年度分のメス牛の最終予測値は276,700頭で、実績と788頭分(+0.3%)しか誤差がありませんでした。詳しくは、乳用牛群検定全国協議会 HP を参照ください。

[乳用牛群検定全国協議会](#) [検索](#)

優秀検定員をご推薦ください!

乳用牛群検定全国協議会では、毎年2月に優秀検定員を表彰しています。実務経験5年以上で、立会業務をなされている方で、人格見識ともに高く、農家の信望の厚い方が対象です。みなさんの周りにいらっしゃる時は、最寄りの検定組合に、「〇〇さんは優秀検定員にふさわしい」と声かけしてください。

つなぎ
(1枚)



T シャツ
(2枚)



表彰された優秀検定員には、左の豪華副賞も授与されます。胸には「エクセレント〇〇〇」と、優秀検定員のお名前が入ります

他にカタログ
ギフトも
あります

牛群検定！点検シート（その20 子牛の育成 EPA）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょう！今回は、子牛の育成です。最近は預託される方もおおいのですが、育成時の発育など一生涯の泌乳能力に影響することもあります。

農家コード _____ 氏名 _____

・牛群改良情報と検定成績表を参考に確認しましょう！

①牛群改良情報のEBV乳量や乳代効果が、「あなたの組合」より高い値ですか？
Yes No (下図、課題がある事例 矢印①と②)

→Yes 遺伝的改良は組合内でも進んでいます。

②牛群改良情報のEBV乳量や乳代効果が、下段の「EPA」より高い値ですか？
Yes No (下図、課題がある事例 矢印①と②)

→No 高い遺伝能力を持った牛群でも、育成がうまくいっていないようです。

③検定成績表の305日乳量で初産も十分に能力発揮してますか？
Yes No (下図、課題がある事例 矢印③)

→No 育成での発育などが十分でないと、初産牛が低能力となります。補正乳量で初産が高成績が望ましい成績です。

牛群改良情報（農家情報）											
推定育種価(EBV)・推定生産能力(EPA)の平均（上段:EBV 下段:EPA）											
EBV	頭数	乳量	乳脂率	蛋白質量	蛋白質率	無脂固形分量	無脂固形分率	体細胞スコア	泌乳持続性	乳代効果(円)	生産効果(円)
EPA		(kg)	(%)	(kg)	(%)	(kg)	(%)		空胎日数※		生産効果(円)
あなたの牛群	56	+267	+5	-0.04	+9	+0.01	+23	+0.01	2.17	+0.43	+24,748
		+223	+3	-0.04	+7	+0.01	+20	+0.01		139	+20,124
あなたの組合	1,383	+207	+0.06	+8	+0.02	+20	+0.03	2.09			+23,157
		+257	+0.05	+9	+0.02	+25	+0.04			24.8	+27,721

年間305日成績	頭数	240～305日間 成績				
		乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	補正乳量
	頭	kg	%	%	%	kg
1産	41	8603	3.71	3.18	8.76	10709
2産	21	10808	3.71	3.18	8.62	11969
3産以上	11	11628	3.60	3.11	8.59	11665
平均又は合計	73	9693	3.17	8.69	11216	

検定成績表（牛群成績）

課題がある事例

EPAとは、主に育成での発育など状況と遺伝能力の関わり見るものです。

①課題がある事例

EPA乳量がEBV乳量より低く、遺伝能力が発揮出来ていません。これは、育成の発育が悪い場合などに良く見られる事例です。実際の乳量でも初産牛が8,603kgと搾れていません。

②良い事例

EPA乳量がEBV乳量より大きい。遺伝能力に発育などの環境要因がプラスに働いています。事例では、初産から十分搾れており、平均で9,693kgと①と比較して約1,000kgの差がついてしまいます。

なお、EPAは発育だけではありません。例えば、飼育者が子牛を乱暴に扱った結果、人を恐れる気質となれば、その身についた牛の気質も影響すると言われていています。人を恐れるようになった牛は低乳量となることが知られています。

牛群改良情報（農家情報）											
推定育種価(EBV)・推定生産能力(EPA)の平均（上段:EBV 下段:EPA）											
EBV	頭数	乳量	乳脂率	蛋白質量	蛋白質率	無脂固形分量	無脂固形分率	体細胞スコア	泌乳持続性	乳代効果(円)	生産効果(円)
EPA		(kg)	(%)	(kg)	(%)	(kg)	(%)		空胎日数※		生産効果(円)
あなたの牛群	12	+272	+13	+0.03	+10	+0.01	+24	+0.01	2.18	+0.34	+28,219
		+510	+18	-0.01	+15	-0.01	+42	-0.02		138.4	+49,192
あなたの組合	349	+187	+10	+0.03	+8	+0.03	+20	+0.05	2.10	+0.24	+21,226
		+300	+13	+0.03	+12	+0.03	+31	+0.06		134.2	+32,184

年間305日成績	頭数	240～305日間 成績				
		乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	補正乳量
	頭	kg	%	%	%	kg
1産	4	9361	3.34	3.15	8.60	11958
2産	9	9909	3.43	3.21	8.73	10935
3産以上	6	11050	3.54	3.25	8.71	11351
平均又は合計	19	10154	3.45	3.21	8.70	11282

検定成績表（牛群成績）

良い事例